

筑波大学比較・理論文学会 令和五年度活動報告

(以下の報告は 2024 年 3 月 1 日現在のもの)

◎令和 5 年度筑波大学比較・理論文学会年次大会

2024 年 2 月 4 日 於：筑波大学総合研究棟 A110 室

◆研究発表

司会：齋藤一（筑波大学人文社会系 准教授）

- ・蔡夢慧（人文学学位プログラム文学サブプログラム 後期 2 年）
「占領と自省——池田みち子「上海もの」における日本占領下の上海表象研究」
- ・齋藤一（筑波大学人文社会系 准教授）
「英語圏核ディザスター文学史の試み——大原三八雄の場合」

◆パネル発表「中日比較文学研究の現在」

司会：加藤百合（筑波大学人文社会系 教授）

ディスカッサント：青柳悦子（筑波大学人文社会系 教授）

- ・朱衛紅（上海財經大学 教授）
「俳句の漢訳における諸問題——松尾芭蕉を例にして」
- ・馮英華（寧波大学 准教授）
「中日比較文学研究の中の「浙江」」
- ・李雪（寧波大学 准教授）
「中日比較文学研究の中の「浙江」」
- ・連子心（文芸・言語専攻 総合文学領域 5 年）
「日本女性文学の中国語翻訳——近年中国語簡体字翻訳出版事情を踏まえて」

◎修士学位請求論文発表会（6月提出）

2023年6月29日 於：筑波大学人文社会学系棟 A204 室

- ・皮雨晴（人文学学位プログラム文学サブプログラム 前期2年）
「香港を舞台にした宝塚歌劇団のシェイクスピア翻案劇『TEMPEST—吹き抜ける九龍—』研究——ジェンダーとポストコロニアル視点からの考察——」
- ・劉岑（人文学学位プログラム文学サブプログラム 前期2年）
「戦後占領期におけるロビンソン・クルーソー像—翻訳児童文学としての『ロビンソン・クルーソー』を中心に—」

◎修士学位請求論文発表会（12月提出）

2024年1月12日 Teams によるオンライン開催

- ・Brenna Tanner（人文学学位プログラム文学サブプログラム 前期2年）
「Moral metamorphosis : Christian Morality as Viewed Through Female Missionary Writing in Japan」
- ・顔曉琨（人文学学位プログラム文学サブプログラム 前期2年）
「交差するアイデンティティと格差社会—桐野夏生の『グロテスク』を中心に—」